

## 02 基金の状況

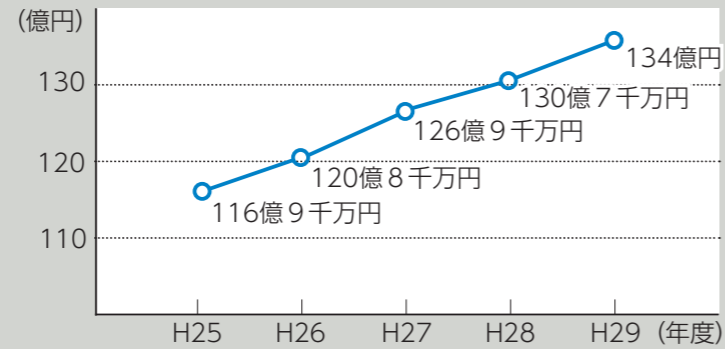
平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口・世帯数で算出  
人口 61,242人、世帯 24,292世帯 ※ ( ) 内の数字は昨年比

市民1人  
あたりの貯金  
218,872円  
(+7,204円)

3億3,346万2千円の増、年度末残高134億419万7千円

災害の発生や財源不足に備え積み立てています

市の貯金にあたる「基金」は、災害発生時等の緊急の対応や教育・文化の振興、市民福祉の向上などのために積み立てて活用しています。



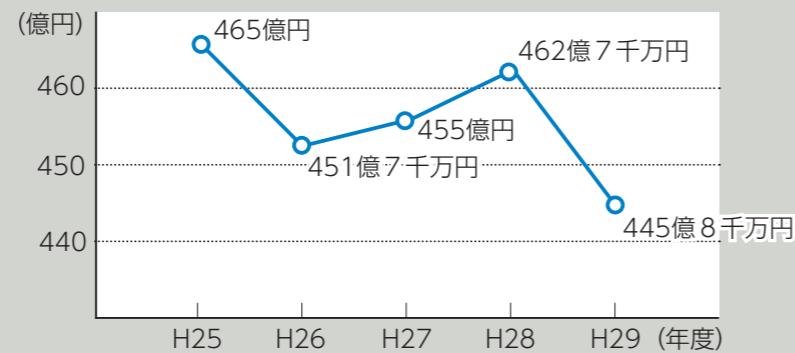
## 03 借入金 (市債・企業債の状況)

年度末借入金残高 (臨時財政対策債を除く) 445億8,451万9千円

将来の負担を念頭に計画的に借入れと返済を行っています

市民1人  
あたりの借金  
728,005円  
(△21,328円)

道路や橋、学校などを建設するには多額の費用が必要になることから、借入金を活用しています。これらの施設は長年にわたり使用するもので、次の世代を含め、使う人みんなが公平に負担してもらうことが借入れをする大きな理由の一つです。



### 計画的な繰り上げ返済を行っています

合併前の旧4市村では、借入金を有効に活用して道路や下水道、福祉・教育施設などの整備を行ってきましたが、借入金の残高が増え、返済の負担が重くなっていました。

財政健全化のためには、大きくなり過ぎた借入金の残高を減らすことが必要です。そこで市では、計画的な借入れと返済を行うとともに、市税や補助金などの収入確保と事務事業の見直しなどの経費節減に努め、捻出したお金で繰り上げ返済を実施してきました。

繰り上げ返済のメリットは、翌年度以降の利子が節約できることです。利子の節約で捻出した財源は、市民福祉の向上に活用することができます。

#### 借入金残高



# 平成29年度 決算の状況

皆さんに納めていただいた税金が、どのように使われているのか、市の貯金や借入金はどれくらいあるのかなどを知っていただくために、市では毎年6月と12月に財政状況をお知らせしています。今月号では、現在の財政状況と平成29年度決算の概要をお知らせします。

## 01 市の財政状況

財政は健全に運営されています



国が示す次の4つの指標で、市の財政の健全性を確認することができます。

- ① **実質赤字比率**  
一般会計を中心とした赤字の割合
- ② **連結実質赤字比率**  
一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計を合算した赤字の割合
- ③ **実質公債費比率**  
年間の借入金返済額の割合 (3か年平均)
- ④ **将来負担比率**  
将来の負担が見込まれる負債の割合

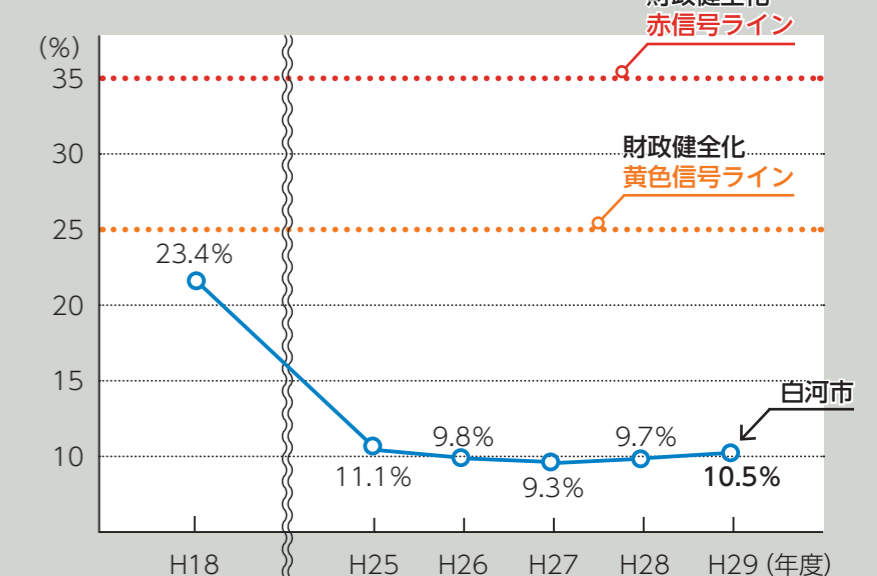
#### 財政の健全化判断指標

指標	白河市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
①実質赤字比率	赤字なし	12.63%	20%
②連結実質赤字比率	赤字なし	17.63%	30%
③実質公債費比率	10.5%	25%	35%
④将来負担比率	57.8%	350%	

借入金返済額の割合を示す公債費比率は、3か年平均で10.5%となりました。

財政健全化が進み、市の「健全化判断比率」はいずれも国の基準値内となっています。効果的、効率的な行政運営により、今後とも健全な財政を維持します。

#### 実質公債費比率の推移 (3か年平均)



## 05 特別会計

特定の収入で、特定の事業を実施するための会計です。

特別会計は、一般会計と区別することで、それぞれの事業の収支や運営実績を明確にすることができます。

市には、13の特別会計があります。29年度は全ての特別会計で、安定的な運営がされています。

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国有林野払受費	18万3千円	18万3千円	0円
教育財産	175万9千円	175万9千円	0円
小田川財産区	5,616万7千円	5,616万7千円	0円
大屋財産区	286万3千円	286万3千円	0円
樋ヶ沢財産区	1,449万5千円	1,449万5千円	0円
土地造成事業	2,236万1千円	2,236万1千円	0円
国民健康保険	74億5,991万3千円	69億6,986万5千円	4億9,004万8千円
後期高齢者医療	5億8,614万9千円	5億8,192万3千円	422万6千円
介護保険	56億6,661万円	55億3,317万9千円	1億3,343万1千円
地方卸売市場	1,925万4千円	1,925万4千円	0円
公共下水道事業	17億4,970万4千円	17億4,265万1千円	705万3千円
農業集落排水事業	8億6,419万1千円	8億6,419万1千円	0円
個別排水処理事業	7,337万6千円	7,337万6千円	0円
合計	165億1,702万5千円	158億8,226万7千円	6億3,475万8千円

## 06 公営企業会計

公共利益のため、市が経営する公営企業の会計です。

※公営企業会計における収支の不足分は、内部留保資金で補填しています。

区分	収入	支出	差引額
水道事業			
収益的	13億5,897万9千円	11億5,816万5千円	2億81万4千円
資本的	4億605万4千円	8億7,594万8千円	▲4億6,989万4千円
工業用水道事業			
収益的	6,396万2千円	6,396万2千円	0円
資本的	221万8千円	3,927万3千円	▲3,705万5千円

## 04 一般会計 歳入・歳出

平成29年度の一般会計決算は、歳入総額303億590万3千円に対して、歳出総額290億3,453万5千円で、差し引き12億7,136万8千円の「黒字」となりました。

なお、翌年度に繰り越す事業の財源2億9,079万1千円を差し引いた実質収支額は、9億8,057万7千円となり、平成30年度以降の財源として、各種事業への活用や積み立てを行います。


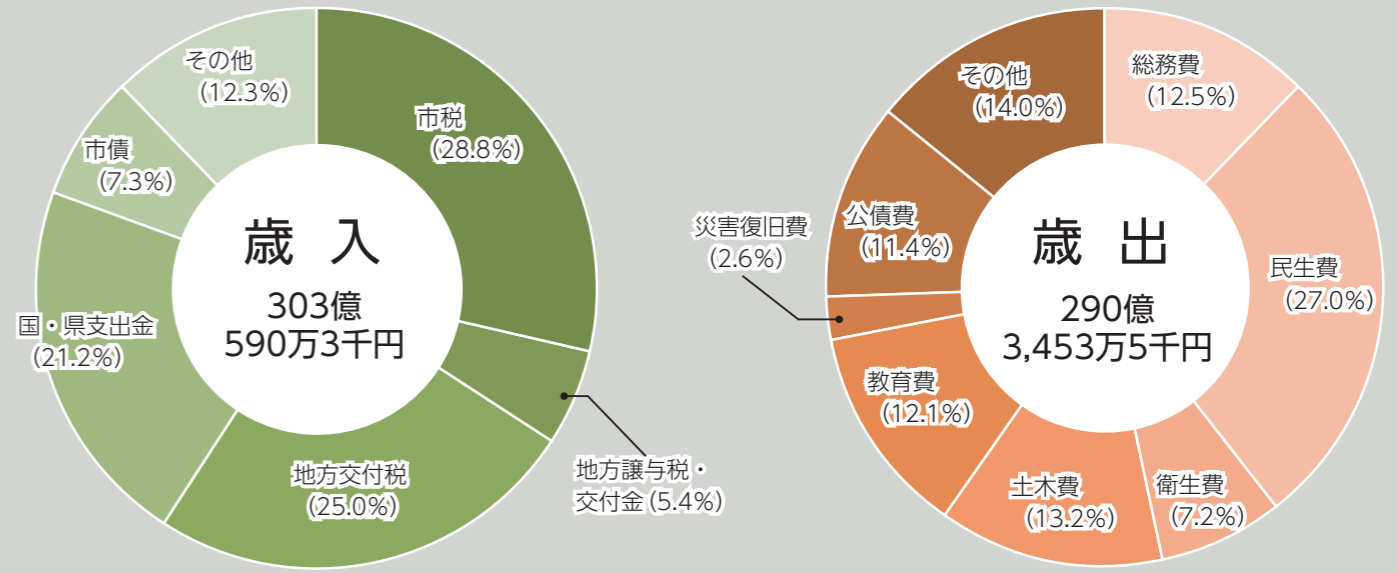
一般会計  
12億7千万円の黒字

平成29年度決算資料公開中！

より詳しい市の財政状況は、ホームページで公表しています。

☎本庁舎財政課 内2333

チェックするワン！

平成29年度 主な事業（抜粋）

 消防車両・屯所等整備事業 3,861万9千円	 児童クラブ施設建設事業 5,884万6千円	 道路維持改修事業 2億8,452万8千円	 釜子小建設事業 4億1,788万円
 白二中建設事業（基本設計） 971万2千円	 待機児童対策事業 4,792万9千円	 健康診査事業 7,860万5千円	 集会所整備事業 8,619万6千円

市税	市民税、固定資産税など	87億3,916万円
地方譲与税・交付金	国や県が徴収した税から一定の割合で配分される交付金	16億4,674万6千円
地方交付税	標準的な行政サービスを行うために必要な財源の不足分を、国が地方に配分する交付金	75億7,007万3千円
国・県支出金	特定の事業に対して国や県から支出される補助金など	64億4,483万7千円
市債	市の借入金	22億2,440万円
その他	使用料・手数料・繰入金・繰越金など	36億8,068万7千円

総務費	市税の徴収・庁舎の維持管理など	36億3,686万4千円
民生費	高齢者福祉や児童福祉、保育園運営、生活保護など	78億7,169万1千円
衛生費	各種検診や予防接種、除染事業、ごみ処理など	20億9,960万円
土木費	道路の舗装や維持補修、河川や公園の管理など	38億1,884万円
教育費	幼稚園、小・中学校の学校教育、社会教育や文化財の保護など	35億959万7千円
災害復旧費	災害によって生じた被害の復旧など	7億4,660万7千円
公債費	借入金の返済	32億9,709万6千円
その他	農林水産業費、消防費、商工費など	40億5,424万円